

新幹線延伸対策特別委員会提言書

平成 26 年 9 月

長野市議会新幹線延伸対策特別委員会

1 特別委員会の設置及び組織

- (1) 設置年月日 平成25年 9月25日
- (2) 名 称 長野市議会新幹線延伸対策特別委員会
- (3) 調査事項 新幹線金沢延伸を控えてのまちづくり、公共交通、観光戦略等について、調査・研究を行う。
- (4) 委員構成 (委員 9名)

委員 長	小 林 義 和	(日 本 共 産 党 長 野 市 会 議 員 団)
副 委 員 長	野 本 靖	(長 野 市 議 会 新 友 会)
委 員	松 木 茂 盛	(改 革 な が の)
委 員	小 林 義 直	(長 野 市 議 会 新 友 会)
委 員	金 沢 敦 志	(長 野 市 議 会 新 友 会)
委 員	勝 山 秀 夫	(公 明 党 長 野 市 議 員 団)
委 員	宮 崎 治 夫	(長 野 市 議 会 新 友 会)
委 員	寺 澤 和 男	(長 野 市 議 会 新 友 会)
委 員	祢 津 栄 喜	(長 野 市 議 会 新 友 会)

2 新幹線金沢延伸を控えた長野市の現状と課題

来年3月14日に新幹線が金沢まで延伸し、北陸新幹線として開業することにより、北陸地域との時間が大幅に短縮する。また、善光寺では来年4月5日から5月31日まで7年に1度の盛儀、善光寺御開帳が執り行われることから、平成27年は長野市が活性化に向けて大きく飛躍するための重要な年であると考えられる。

現在、新幹線金沢延伸を控えた沿線自治体での観光客誘致が盛んに行われており、本市においても、市長直轄プロジェクトである、新幹線延伸・善光寺御開帳対策プロジェクトを中心に、活性化に向けて取組が進められているところである。

長野市は、平成17年及び平成22年に大規模な市町村合併により、市域が大幅に拡大し、豊かな自然や歴史と文化にあふれた観光地が数多く存在するが、一方でこれらの魅力ある観光地を周遊し、市内での滞在時間を延ばす観光ルートの開発や善光寺表参道などにおける休憩所、公衆トイレ及び案内板

の整備、まち歩きを楽しむための観光ガイドの育成、日本一の門前町や冬季オリンピック・パラリンピックの開催都市としての有形無形の財産を生かしたブランド化への取組など観光面の課題が多くある。

公共交通については、長野駅でのバス乗り場等の分かりやすい案内、長野駅をハブ駅とするための市内交通事業者間の連携、協力や生活バス路線の利便性の向上、善光寺御開帳時の渋滞解消などの対策が求められている。

本委員会は、こうした課題への取組を調査するため、市長直轄プロジェクトを初め、市が実施する新幹線延伸に関連した事業の調査、参考人招致として、観光事業者及び公共交通事業者からの意見聴取、先進地での取組状況についての行政視察、市内在住外国籍市民及び長野商工会議所との意見交換会、善光寺の歴史と現状の調査などを実施してきた。

以上の調査に基づき、新幹線延伸を控え、長野駅を単なる通過駅とさせないための対策にとどまらず、本市発展の好機として前向きに捉える視点で、取り組むべきものとして、次の3から6の事項について、各事業に取り入れ、早期に実施するよう提言するものである。

3 新幹線延伸を控えたまちづくりに関する提言

(1) 長野駅善光寺口駅前広場の利活用について

おもてなしの心、長野らしさを表現した顔づくりをコンセプトに長野駅善光寺口駅前広場の整備が終盤に差し掛かっているが、市民が主体的に参画する長野駅善光寺口利活用ネットワーク等の関係団体に対し、駅前広場の利活用が市民の意見が反映された長野らしい演出となるよう、助言や積極的な支援を行うこと。

(2) 長野市観光情報センターの再整備について

長野駅構内にコーヒーショップと一体で再整備が計画されている、長野市観光情報センターは、観光客が市内観光を満喫するための重要な拠点であり、本市の観光の顔である。

については、施設の再整備に当たり、次のとおり取り組むこと。

ア 長野を訪れた観光客に十分な観光情報を提供できるよう、職員配置の増強やボランティアガイド窓口の設置を検討すること。

また、善光寺近辺の観光案内所の増設や中心市街地の必要な場所に店舗などの強力を得たまちなか観光案内所を設置すること。

イ くつろぎ楽しみながら、気軽に案内が受けられるよう、観光客が入りやすい開放的な空間に整備すること。

ウ 荷物の預かりサービスや配送サービスを取り扱うことにより、観光客の公共交通利用促進と利便性の向上を図ること。

エ 大雪災害等により、公共交通機関の運行に影響が出た場合には、観光情報センターが利用者のよりどころとなる。災害時に利用者に対応する職員の役割を明確化するとともに、緊急時における行政や関係機関との連絡体制を確立すること。

(3) まち歩き観光推進のための取組について

善光寺表参道として車中心から歩行者にやさしい通りとするため、中央通り歩行者優先道路化整備事業が進められているが、まちなかの回遊性と活性化をより一層高めるため、観光名所やバス乗り場など、まち歩きのために必要な分かりやすい統一的な案内表示板を設置すること。

併せて、安心してまち歩きを行うために、トイレの整備等も必要である。公衆トイレの充実とともに長野おもてなし推進ネットワークを中心に、行

政と民間の連携による店舗等がトイレを貸し出す仕組みを早急に確立すること。

(4) 善光寺東参道について

本年6月、第二地区住民自治協議会が中心となり、善光寺東参道活性化委員会が設立され、長野電鉄善光寺下駅から善光寺仁王門までを結ぶ全長約550mの善光寺東参道（通称）を安全で地域にふさわしい道路とする検討が行われている。

この善光寺東参道が安心して通行ができ、地域にとっても利便性が高い道路となるよう、善光寺東参道活性化委員会に対し、行政として必要な協力や支援を行うこと。

4 新幹線延伸を契機とした新しい観光市場への戦略に関する提言

(1) 新幹線延伸を契機としたPR事業の拡大について

新幹線金沢延伸に伴い、北陸地域からの観光客ばかりでなく、関西方面や海外からの観光客の増加が見込まれる。

善光寺御開帳等の周期的なイベントに限らず、恒常的な誘客を図るため、長野びんずるを初め、ながの祇園祭、長野灯明まつり、長野えびす講煙火大会などの本市の魅力あるイベントのPRを全国的に展開すること。また、PR事業拡大に伴う予算を十分確保すること。

(2) ボランティアガイド事業について

現在、長野市善光寺表参道ガイド協会などにより、ガイド育成等の事業が進められているところであるが、まち歩き観光を楽しむために、コース設定は重要な鍵となる。学生や観光客の視点から本市の食を効果的に取り入れたコース設定を検討すること。

また、観光客と相談しながらニーズを酌み取り、コースを設計する伊勢市のオーダーメイド型観光事業などを参考に、ガイド事業について観光ボランティアガイド団体等と連携し、更に研究を進めること。

(3) 善光寺御開帳に合わせたイベントについて

現在ウェルカム長野2015実行委員会が中心となり、善光寺御開帳時の「にぎわいイベントの実施」事業として中央通りなどで数多くのイベントが計画されている。善光寺御開帳は間近であり、これらのイベントを成功させるため次のとおり取り組むこと。

ア 中央通りの商店会、住民自治協議会などが中心となり、「地域の日」など各種イベントの企画がされているところであるが、イベントを実施する

関係団体へ積極的な情報提供と支援を行い、市民参加を重点に置いたイベントとすること。

イ 長野市がリーダーシップをとり、スケジュール管理の徹底により、イベント準備のスピードアップを図り、新幹線沿線自治体、旅行代理店等に対し、にぎわいイベントの実施について、早期に情報提供すること。

ウ 善光寺御開帳期間中は、自家用車等により市外から訪れる観光客に対して、にぎわいイベントについて周知するため、高速道路のサービスエリアやパーク・アンド・バスライドなどの公共駐車場にイベント情報の案内冊子やパンフレットを備え付けること。

(4) インバウンド対策について

新幹線金沢延伸に伴い、富山空港、小松空港及び新潟空港からのアクセスが向上し、外国人観光客の増加が見込まれる。海外からの観光客の心をつかみ、市内での滞在時間を延ばすために、次のとおり取り組むこと。

ア インバウンド対策を検討するに当たっては、在住外国人との意見交換会やアンケート調査などにより、外国人本人から率直な意見や提案を引き出し、効果的な対策を行うこと。

イ 観光情報センターでの多言語対応が可能なスタッフの配置と多言語案内パンフレットの配備、店舗や観光施設における案内表記やパンフレットなどの多言語化を行うこと。

ウ 外国人の口コミの力による宣伝効果を得るため、ソーシャル・ネットワーク・サービスなどを活用した、国内在住外国人向けの観光PRを実施すること。

併せて、海外の旅行代理店を対象とした観光PRを実施すること。

(5) 観光戦略に重点を置いた庁内組織について

恒常的に観光客を増やし、新1200万人観光交流推進プランの目的を達成するとともに、平成29年度からの次期観光交流推進プランの発展方向を確立するためには、本市の魅力ある観光資源の開発やブランド化が急務である。

また、善光寺御開帳など周期的に実施される大規模なイベントに多くの観光客を誘致するためには、長期的な視点に立ち、観光戦略を研究する庁内組織が必要である。

よって、観光戦略室への専門的な人材配置などの組織強化や観光の大規模なイベントにおいては、観光戦略室を中心として、庁内の各部局や関係外郭

団体が横断的に連携し、長期的な視点で事業に取り組むことができる組織づくりを検討すること。

5 新幹線延伸に対応した公共交通の整備に関する提言

(1) 観光バスルート開発及びバスダイヤの見直しについて

伊勢市においては、二次交通としてバス事業者との連携で各観光地を結ぶ参宮バスやCANバスを運行することにより、鉄道等の公共交通機関利用者が増加するなど成果を上げている。

本市は、市町村合併により市域が拡大し、素晴らしい観光名所が各所に点在している。これらの観光資源を有効に活用するため交通事業者と協力し、戸隠や松代を初めとした観光地を周遊するバスルートや地域循環バスぐるりん号を含めた生活路線バスを活用した観光ルートの開発、運行時間の延長など観光客が利用しやすいバスダイヤを検討すること。

(2) 長野駅善光寺口駅前広場のバス乗り場案内について

現在整備が進められている長野駅善光寺口駅前広場のバス乗り場案内表示については、市民の意見を反映するとともに、金沢駅などの先進事例を参考に、目につきやすい方面別の一連の番号表記や、床面サインなども取り入れ、障害者や高齢者にとっても分かりやすく、利便性が向上するものにする

(3) 鉄道主要駅での観光地への案内について

本市の広域化により、鉄道の主要駅から離れた場所に数多くの観光地が存在している。

市外から本市に訪れた観光客を各地に点在する本市の魅力ある観光地へ確実に誘導するため、公共交通事業者と連携し、主要駅構内での観光地への分かりやすいルート案内や観光地までの交通手段について詳しい情報提供を実施すること。

(4) 公共交通事業者への支援について

市では、新幹線金沢延伸に伴い、JRから経営分離される長野駅以北の信越本線長野・妙高高原間―北しなの線の運行対策を支援する事業を実施している。

この北しなの線は、通勤、通学、通院、買物などで沿線地域の日常生活を支える重要な役割が期待されることから、篠ノ井駅の以南路線とともに今後安定した公共交通網として定着するまでの間、引き続き支援を行うこと。

併せて、利用客の減少などにより、将来廃止のおそれのあるバス路線については、住民アンケート調査などにより必要性を見極め、生活路線として必

要な路線については、市が財政的な支援を行うとともに、運行事業者と協力し、市民に利用を呼び掛けるなど、存続に向けた取組を行うこと。

(5) 観光ボランティアガイドの協力による公共交通のPR等について

来年春の新幹線金沢延伸、善光寺御開帳に向けて、市内交通事業者各社は、フリー切符などの企画乗車券の発売を検討している。長野市を訪れた観光客にこれらの企画商品を周知するため、観光地で案内を行うボランティアガイドの協力を得ることが有効な手段と考える。

よって、市内交通事業者と観光ボランティアガイド団体が協力関係を構築できるよう橋渡しを行っていくこと。

また、観光客の利便性を向上させるため、再整備の計画が進められている長野市観光情報センター内で、交通事業者各社の企画乗車券を購入できるようにすること。

(6) 交通渋滞の解消について

善光寺御開帳時における周辺地域の交通渋滞は、毎回深刻な問題となっている。善光寺御開帳など大規模イベント時に観光客を目的地へスムーズに誘導し、市内観光のための時間を有効に活用していただくため、また市民生活に支障を来さないため、次のとおり取り組むこと。

ア 御開帳時における善光寺周辺の自家用車の交通規制や駐車場の利用制限等による抜本的な交通渋滞解消の方策を検討すること。また、交通渋滞解消への取組に限らず、今後とも善光寺御開帳奉賛会や善光寺事務局との連携を強めること。

イ 市が主催する大きなイベントやコンベンションにおいては、臨時駐車場の整備やパーク・アンド・バスライド及び鉄道事業者各社と連携したパーク・アンド・レールライドを実施するなど機動的な対応をすること。

また、パーク・アンド・バスライドやパーク・アンド・レールライドの推進のため、高速道路のインターチェンジやサービスエリアで駐車場の位置図を配布し、市外からの観光客に周知すること。

6 長野市の有形無形の財産を生かしたブランド化への取組についての提言

(1) ながのシティプロモーションについて

長野商工会議所との意見交換会において、長野市が中心となって進めているながのシティプロモーションについて、継続して前向きに進めていくよ

う要望があった。

新幹線金沢延伸を控え、本市の交流人口や定住人口を増やすために、長野市の魅力ある人やものづくり、食・歴史文化や伝統などの資源を、広く情報発信していくシティプロモーションは根幹となる重要な役割を担っている。

については、ながのシティプロモーションの推進に当たっては、次のとおり取り組むこと。

ア ながのシティプロモーション実行委員会の連携を更に強めるとともに、庁内の横断的な組織により、全庁を挙げてシティプロモーションに取り組むこと。

イ 本市の有形無形財産のブランド化には、行政主導だけではなく、民間のアイデアが必要である。地域の学生など長野市の将来を担う若者などを対象としたアンケートの実施や市民主体のブランド化ワーキンググループ設置など、市民が自発的にブランド化に取り組める方法を整備し、広く周知すること。

ウ 信州そば、イノシシ・鹿肉等のジビエ料理、高原野菜、山菜など本市の特色を生かした食文化を味わえる店の育成とガイド冊子の作成など観光客を誘致するための取組を拡大すること。

エ デスティネーションキャンペーンなどの大型観光キャンペーンは活性化の大きな手助けとなり、本市の魅力を発信する絶好の機会である。JRや旅行代理店など広く関係者へ大型観光キャンペーンの採用を働き掛けるなど効果的な観光PRを実施すること。

(2) 国内外のオリンピック開催都市との連携について

1998年長野冬季オリンピック・パラリンピックの開催によって、国内外に向け本市を平和とスポーツの国際都市として発信したことは貴重な財産である。この有形無形の財産と市民の貴重な経験を将来に生かし、国内外のオリンピック・パラリンピック開催都市との友好交流や連携など新たな方向性によって本市の魅力を十分PRし、観光客などの交流人口の増加に努めること。

理事者においては、これらの事項を各事業に取り入れ、早期に実施するよう要望するものである。

新幹線金沢延伸、善光寺御開帳が間近に迫り、現在、公共施設の整備や観

光イベントなど様々な事業が急ピッチで進められているところであるが、今後の課題も多く残されている。

文化芸術活動の拠点施設として建設が進められている長野市芸術館は、長野冬季パラリンピックの総合演出を行った久石譲氏を芸術監督として迎えるという優位性を積極的に生かし、今後、長野から世界への文化芸術の発信と市民の文化芸術の創造や発表の場として大いに活用され、文化力あふれるまちづくりに大きな役割を果たすことを期待するものである。

また、開催が迫ってきた2018年の韓国平昌冬季オリンピック・パラリンピック及び2020年の東京オリンピック・パラリンピックを本市発展の絶好の機会と捉えて積極的なインバウンド対策等の観光戦略を展開するよう期待するものである。

北陸新幹線長野・金沢間の開業日である3月14日まで半年余りとなった現在、長野駅善光寺口駅前広場整備事業については、駅利用者の動線の確保やJRとの工事の調整などが必要な事業ではあるが、新幹線延伸・善光寺御開帳に遅れることなくしゅん工し、観光都市長野の新しい顔として、多くの観光客を迎え入れることが必須要件である。

これらの他に課題は山積しているが、いずれにせよ新幹線延伸に伴う対策や取組が単なる一過性のものにとどまるのではなく、今後も市民自身が長野に暮らせてよかったと思えるまちづくりを目指して各事業を継続、発展させることによって地域経済も大きく飛躍し、本市が魅力ある都市として国内外に発信され、将来に明るい展望が開けることを期待して、提言とする。

7 調査研究の経過

番号	開催年月日	調査事項等
1	平成25年 9月25日	・正副委員長の互選
2	10月28日	・重点調査研究事項について
3	11月22日	・ながのシティプロモーションについて ・新1200万人観光交流推進プランについて
4	12月10日	・長野駅善光寺口駅前広場整備事業について ・中央通り歩行者優先道路化整備事業について ・長野市歴史的風致維持向上計画について
5	平成26年 1月21日 ～1月23日	・行政視察（伊勢市、姫路市、宇部市）
6	1月30日	・インバウンド対策、ガイド事業、第2種旅行業登録に伴う事業展開について（参考人意見聴取）
7	2月10日	・在住外国籍市民から見た長野市の観光とまちづくりについて（意見交換会）
8	3月11日	・新幹線延伸・善光寺御開帳対策プロジェクトについて
9	4月24日	・新幹線金沢延伸を控えたまちづくり、観光戦略、公共交通等について（意見交換会）
10	5月29日	・善光寺境内の案内について（管内視察）
11	6月13日	・新幹線延伸・善光寺御開帳対策プロジェクトの準備状況と今後の予定について ・長野市観光情報センター再整備の係る実施設計（案）について
12	6月27日	・新幹線延伸に伴う二次交通、新幹線延伸・善光寺御開帳に向けた新商品の企画等について（参考人意見聴取）
13	7月23日	・新長野駅ビル、新幹線延伸に伴う二次交通、新幹線延伸・善光寺御開帳に向けた新商品の企画等について（参考人意見聴取）
14	8月11日	・善光寺御開帳2015日本一の門前町大縁日基本計画（案）について ・提言書に取り入れる事項及び内容について
15	8月29日	・提言書案について
16	9月12日	・提言について